

ぎおんまつりのきせつです。(今年もじゅん行は中止。)

そもそもこのおまつりは千年以上もまえに六十六本のほこ(日本国内の国の数)をたてたのがはじまりです。このころは大じしんもあり、富士山がふん火し、うえじにする人も多く・・・とたいへんなことになっていたのです。

そこで人々はとりあえずつゆの大雨を止ませてほしいとねがいました。鴨川かもがわなどがあふれるとぼつとん便所の中があふれ出て、井戸水とまざります。そんな水を飲むとおなかをこわします。伝せん病もはやりますが、むかしは病院もないのでそのままたくさんの死者が出ます。何万人も亡くなるわけです。もちろんこう水で流される人や、家を失う人もいたでしょうね。今のようなしっかりしたていぼうはありませんから。

むかしの人は雨をふらせたり止ませたりするのはりゅうじんさま(ドラゴンボールのシェンロンみたいなもの)だと思っていました。りゅうじんさまの大こうぶつが馬だとも思っていました。

そこで、古代、雨を止ませてほしいときには生きた馬をいけにえにして川に放り込んでいたのです。

そのなごりがぎおんまつりにもこのついています。馬の板をぶら下げた「こまがたちこ」というおちごさんが久世の神社からやってきてこそぎおんまつりがはじまるのです。

この神社の氏子さんの多くはみょう字が川勝さんといえます。秦河勝はたのかわかつの子孫といわれる方々です。秦氏はたしは水をコントロールするのがうまい人たちで、あらし山に大きな堰せきを設けたことでも知られています。それで渡月橋とぎつききょうあたりの保津川と桂川の間のおおいがわを大堰川おおいがわというのです。

音読サイン↓

① 何の話でしょうか？

() (のはじまり)

② ぎおんまつりのはじまりは何というものをたてたことですか？

() ()

③ この時代日本国内にいくつの国がありましたか？

() ()

④ このころにふん火していた山は何ですか？

() ()

⑤ 千年前にはなかったものはどれですか？

() 井戸 () 便所 () 浄水場

⑥ むかしの人は雨をだれがふらせると思っていましたか？

() ()

⑦ ⑥の大こうぶつは何だと思われていましたか？

() ()

⑧ 馬の板をぶら下げたおちごさんをなんといいますか？

() ()

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() () りゅうじんさまはお便所のかみさまだ。

() () りゅうじんさまはほんとうにいる。

() () りゅうじんさまとシェンロンはにている。

⑩ 上の話のかんそうを五行でまとめましょう。

できばえは？

